

自由民権資料館 2021 年度第 1 回特別展
「町田と江戸ーヒトとモノの交流史ー」の実施報告について

- 1 開催期間：2021 年 7 月 17 日（土）～ 9 月 5 日（日）
- 2 開催場所：町田市立自由民権資料館企画展示室
- 3 観覧者数：1,018 人／44 日間(1 日平均：23 人)

4 開催報告

本展では、巨大都市江戸と現在の町田市域を行き来した人やモノの資料をもとに、当時の両方の社会が相互の関係によって形成されていった様子を紹介しました。

展示史料 80 点のほとんどは市内各家に残る古文書や絵図で、江戸から実際に持ち帰った土産の版本など貴重な史料を公開しました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自由民権資料館ではなく市内施設にある広い会場を利用し、記念講演会と出張展示解説を行いました。

(1) 関連事業

【記念講演会】

日時：8 月 21 日（土） 14：00～16：00

講師：千葉真由美 氏（茨城大学教育学部教授）

演題：「近世多摩地域の百姓と江戸出府」

会場：町田市民文学館ことばらんど 大会議室

参加者数：43 名

【出張展示解説】

① 日時：7 月 30 日（金） 14：00～16：00

会場：町田市民文学館ことばらんど 大会議室

参加者数：40 名

② 日時：8 月 18 日（水） 14：00～16：00

会場：堺市民センター ホール

参加者数：13 名

(2) 資料

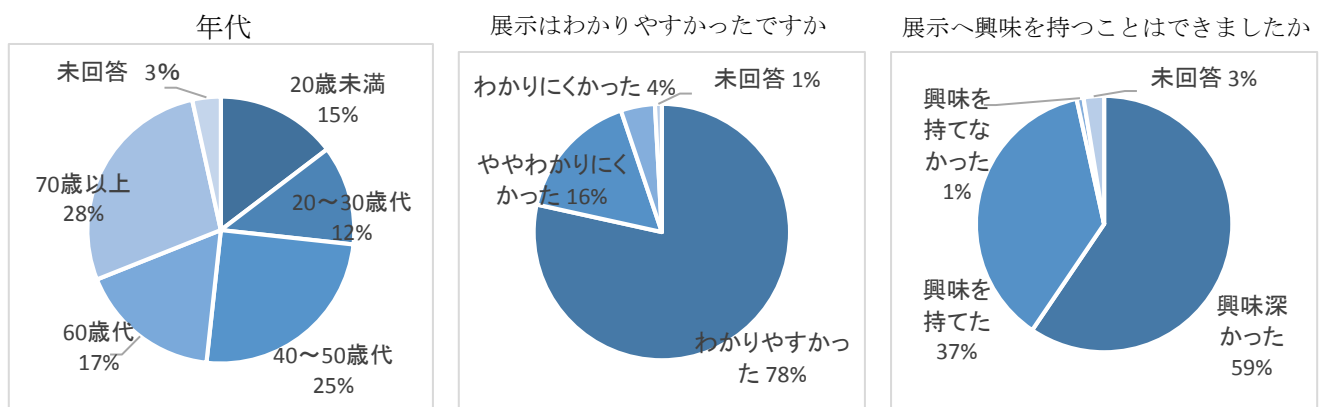
約 80 点の資料を展示

(3) パブリシティ

読売新聞、町田ジャーナル、タウンニュースへの掲載、FMさがみのラジオ番組、多摩テレビで紹介されました。

(4) 来館者アンケート

本展では、市内からの来館が 70%と大半を占め、緊急事態宣言の移動自粛が影響し、市外からの来館が少なかったと推測されます。年代別では 60・70 歳代が約半数を占めるものの、夏休み期間中であったため、20 歳未満が 15%と例年平均(7%)を上回る若い層の来館がありました。また、展示内容については 78%の方から「わかりやすかった」と回答いただき、約 97%の方から満足の評価をいただきました。



【来館者感想】

- ・「初めて来館しましたが、町田市のことについて「私たちはこのような町にすんでいるんだ」などたくさんの気づきがありました」(10代・女性)
- ・「町田と江戸のかかわりや距離感がわかった。江戸のガイド本が興味深かった。小野路の地名の冊子は翻刻文がほしかった。地域の子どもたちが興味を持つのではないのでしょうか?」(40代・女性)
- ・「江戸時代の町田の様子がよく分かりました。小学校や中学校等の学生達も多くを学べる絶好の機会だと思われれます。教科書では学べないものが多いです。」(70代・男性)
- ・「村と江戸との往来が具体的な展示でわかりやすかった。今後も村人の生活等に焦点を当てた企画展を希望します。」(70代・女性)